

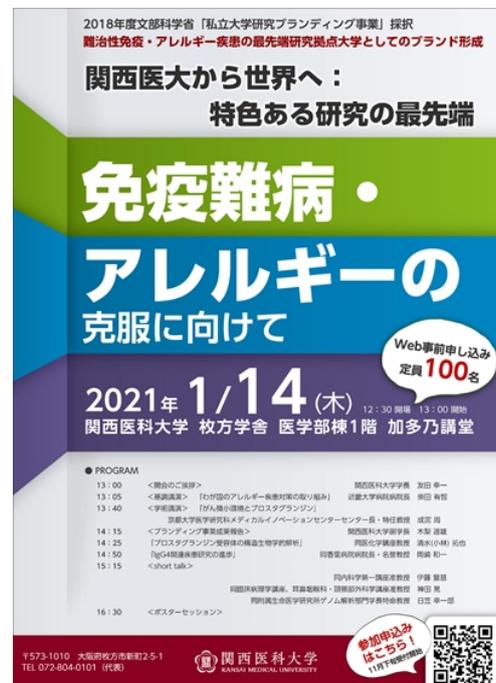
# 1/14(木)研究ブランディング事業シンポジウム開催 免疫難病・アレルギーに関する研究成果も報告

## 【本件のポイント】

- 3年間の本学研究ブランディング事業の集大成シンポ
- 近大病院 東田病院長、京大 成宮特任教授も登壇
- 本学枚方学舎医学部棟加多乃講堂において開催

学校法人 関西医科大学(大阪府枚方市 理事長・山下敏夫、学長・友田幸一)は、1月14日(木)13:00~研究ブランディング事業シンポジウム「免疫難病・アレルギーの克服に向けて ~関西医大から世界へ 特色ある研究の最先端~」を実施します。これは、2018年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」の支援対象校に選定された本学が、以来全学一丸となって取り組んできた研究成果を社会に還元する取り組みの一つです。

当日は近畿大学病院東田有智病院長と京都大学医学研究科メディカルイノベーションセンター成宮周センター長(特任教授)を招いた特別講演の他に、免疫難病やアレルギー疾患を克服するための研究に取り組んだ第一線の本学教員・研究者が、これまでの成果を報告・発表する予定です。なお、講師のプロフィールや講演の概要および聴講のお申込み方法については、別紙資料をご覧ください。



2018年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」授託  
難治性免疫・アレルギー疾患の最先端拠点大学としてのブランド形成

関西医大から世界へ：  
特色ある研究の最先端

## 免疫難病・ アレルギーの 克服に向けて

Web事前申し込み  
定員100名

2021年1/14(木) 12:30開場 13:00開始  
関西医科大学 枚方学舎 医学部棟1階 加多乃講堂

● PROGRAM

|       |                             |   |
|-------|-----------------------------|---|
| 13:00 | <開会のご挨拶>                    | 関西医科大学 友田 幸一                            |
| 13:05 | <講演演説> 「わが国のアレルギー疾患対策の取り組み」 | 近畿大学病院院長 東田 有智                          |
| 13:40 | <学術演説> 「がん発生環境とアレルゲン曝露」     | 京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター長、特任教授 成宮 周 |
| 14:15 | <ブランディング事業結果報告>             | 関西医科大学 木梨 達雄                            |
| 14:25 | <アロスタグランジン受容体の構造生物学的解析>     | 関西医科大学 清水(小梅) 拓也                        |
| 14:50 | <免疫疾患発症メカニズムの進歩>            | 同書発行副院長・名誉教授 岡田 和一                      |
| 15:15 | <short talk>                |   |
| 16:30 | <ポスターセッション>                 |   |

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1  
TEL 072-804-0101 (代表)

関西医科大学  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY

参加申し込みはこちら！  
11月30日締切



シンポジウムポスター

| 日時                 | シンポジウムテーマ   | 会場(予定)   |
|--------------------|---|--|
| 1月14日(木)<br>13:00~ | 「免疫難病・<br>アレルギーの克服に向けて<br>~関西医大から世界へ 特色ある研究の最先端~」 | 関西医科大学<br>枚方学舎 医学部棟<br>1階 加多乃講堂<br>大阪府枚方市新町2-5-1 |

※会場および講演内容は、一部変更になる場合があります。

※先着100名限定、事前申し込み必要

## 【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室(岡田)

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

## 別添資料

| 関西医科大学研究ブランディング事業シンポジウム 詳細 |   |
|----------------------------|---|
| 日 時                        | 1月14日(木) 13:00~18:00  |
| U R L                      | <a href="https://forms.gle/iDvu1R2sD2mLsHqn8">https://forms.gle/iDvu1R2sD2mLsHqn8</a><br>※一般の方の聴講は、上記事前参加申し込みが必要です。   |
| プログラム                      | <p><b>13:00 &lt;開会のご挨拶&gt;</b><br/>関西医科大学学長 友田 幸一</p> <p><b>13:05 &lt;基調講演&gt;</b><br/>「わが国のアレルギー疾患対策の取り組み」<br/>近畿大学病院病院長 東田 有智</p> <p><b>13:40 &lt;学術講演&gt;</b><br/>「がん微小環境とプロスタグランジン」<br/>京都大学医学研究科メディカルイノベーションセンター<br/>センター長特任教授 成宮 周</p> <p><b>14:15 &lt;ブランディング事業成果報告&gt;</b><br/>関西医科大学副学長 木梨 達雄</p> <p><b>14:25 「プロスタグランジン受容体の構造生物学的解析」</b><br/>同医化学講座教授 清水(小林) 拓也</p> <p><b>14:50 「IgG4 関連疾患研究の進歩」</b><br/>同香里病院病院長・名誉教授 岡崎 和一</p> <p><b>15:15 &lt;Short Talk&gt; ※各15分</b><br/>「ヒト樹状細胞をターゲットにした、アレルギーおよび<br/>自己免疫疾患に対する新たな治療戦略」<br/>同内科学第一講座准教授 伊藤 量基</p> <p>「難治性好酸球性炎症における好酸球のサブタイプとその役割」<br/>同臨床病理学講座、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座准教授 神田 晃</p> <p>「オミックス解析基盤の構築とIgG4 関連疾患のゲノムワイド関連解析」<br/>同附属生命医学研究所ゲノム解析部門学長特命教授 日笠 幸一郎</p> <p><b>16:30 &lt;ポスターセッション&gt;</b></p> |



【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室(岡田)

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

PRESS RELEASE



注 意 事 項

- ・来場の際は、必ずマスクをご着用ください  
ご着用いただけない場合、会場への入場をお断りすることがあります
- ・来場時、入り口に設置した手指消毒液を使って、消毒をお願いします
- ・当日は会場入り口にて検温を行います
- ・37.5度以上の発熱が確認された方は、会場への入場をお断りいたします
- ・会場内は換気システムが稼働しておりますが、適宜出入り口を開放することがあります
- ・座席は着席可能な席を明示しておりますので、それ以外には着席しないでください
- ・駐車場のご用意はありませんので、公共交通機関をご利用ください

■講演概要 <基調講演>

「わが国のアレルギー疾患対策の取り組み」

近畿大学病院 東田 有智 病院長

近年、全国民の約50%がアレルギー素因を持っているといわれており、アレルギー疾患対策が急務であった。そこで平成26年6月にアレルギー疾患対策基本法が成立した。本講演では、この対策の基本的な指針、医療提供の在り方、研究10カ年戦略について国および大阪府の取り組みの概略を説明し、さらに平成24年4月に設立された一般社団法人日本喘息学会の取り組みについても述べる。

■講演者略歴

- 1980年 近畿大学医学部卒業
- 1991年 米国 Mayo Clinic, Dep. of Immunology (Prf. Gleich) に留学
- 2002年 近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科教授
- 2006年 近畿大学医学部附属病院 副院長
- 2008年 近畿大学大学院医学研究科長
- 2016年 近畿大学医学部附属病院 病院長・近大病院統括
- 2017年 一般社団法人日本アレルギー学会 理事長
- 2018年 厚生労働省アレルギー疾患対策推進協議会 会長
- 2020年 一般社団法人日本喘息学会 理事長

■講演概要 <学術講演>

「がん微小環境とプロスタグランジン」

京都大学医学研究科メディカルイノベーションセンター 成宮 周センター長・特任教授

がん微小環境では、炎症と免疫抑制が同時に働き腫瘍進展を促進する。我々は、マウスモデルでプロスタグランジン (PG) E2-EP2/EP4 経路が相加的/相乗的に炎症増幅・免疫回避を起こし腫瘍増殖を促進するのを見出した。本講演では、single cell RNAseq 解析で見出された EP2/EP4 signaling のがん微小環境での働きについて述べ、これをいかにしてヒトの臨床がん translate させるかを論じる。

【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室 (岡田)

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

リリース先：大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、  
科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ

2021年1月4日  
No. 00153

## PRESS RELEASE



### ■講演者略歴

1973年 京都大学医学部卒業  
1979年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了  
1988年 京都大学助教授  
1992年 京都大学教授  
1995年 京都大学大学院医学研究科教授  
2004年 京都大学医学研究科長・医学部長  
2007年 京都大学次世代免疫制御を目指す創薬医学融合拠点 拠点執行責任者  
2008年 グローバル COE 生命原理の解明を基とする医学研究教育拠点 拠点リーダー  
2010年 京都大学医学研究科メディカルイノベーションセンター センター長  
2013年 京都大学名誉教授・京都大学医学研究科特任教授  
2016年 京都大学医学研究科寄附講座創薬医学講座主任  
2017年 京都大学医学研究科先端医療基盤共同研究講座執行責任者

### ■聴講のお申込み（一般の方）

下記 URL からお申し込みをお願いしています。

<https://forms.gle/iDvu1R2sD2mLsHqn8>

### ■取材のお申込み（メディア関係者の方） >>

下記「広報戦略室（[kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp](mailto:kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp)、072-804-2126）」まで、

- ・媒体名
- ・ご芳名
- ・ご連絡先（TEL、FAX、E-MAIL）
- ・取材予定人数

をご連絡ください。

※なお、本学に駐車場のご用意はございません。恐れ入りますが近隣の駐車場をご利用ください。

### 【本件取材についてのお問合せ】

学校法人 関西医科大学 広報戦略室（岡田）

〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1

電話：072-804-2128 ファクス：072-804-2638 メール：[kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp](mailto:kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp)